

平成29年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表
その1

議員名	件名	要旨
1 寺田 響	1. 学童クラブの運営について (町長)	2015年8月に全国の学童調査があり、学童保育数は2万5,541カ所、入所児童数は101万7,429人とされ、児童福祉法の改正によって6年生までが対象になり年々増加傾向です。現在川崎町の学童クラブ運営主体は父母会であるが、全国的にこの父母会が運営主体である学童数は減少傾向です。やはり、働いているお父さん、お母さんでは負担が大きく、学童内での急激な変化(指導員やアルバイトの確保)や問題(いじめや怪我)等が発生した場合、対応が後手になってしまう。その分の負担は、現場指導員や福祉課職員にかかり、1番影響がでるのは、やはり学童にいる児童達です。常に問題に対処できる団体、もしくは組織に運営主体を任せるべきだと感じますが、町長のお考えを伺います。
	2. 学校環境整備(トイレ)について (教育長)	現代の生活スタイルでは、ほぼ洋式トイレが主流となっています。保育園や幼稚園でも洋式トイレが主流となっており、全国の小学校のトイレの割合も、「和式と洋式を整備している」が8割を超えています。川崎町の小中学校でも洋式トイレを整備する必要があると感じますが、教育長のお考えをお伺いします。
2 手嶋 真由美	1. 就学援助について	①文部科学省は、義務教育の就学援助について、入学前の支給を可能とすることを発表しましたが、本町での対応は。 ②準要保護者に対する就学援助については、平成17年度から国の補助が廃止になり、各市町村が独自で実施するようになりましたが、本町ではどのようになりますか。
	2. 学校でのがん教育について	①今年度より全国の学校で行われることになった「がん教育」、本町での具体的な計画は。 ②学校における「がん教育」は、身近で知ることが大事です。がん教育の必要性についてどう考えていますか。
	3. 災害時における避難所や、防災センターの対応について	①災害時には避難所等において、飲料の確保が重要であります。防災センター以外での飲料の確保は考えていますか。 ②今後の防災センターの備蓄品の整備計画は。
3 谷口 武雄	1. 食育の推進について (教育長)	2005年に成立した食育基本法、基本計画目標についてお尋ねします。 ①6月は食育月間と国が指定しています。平成16年3月に決定した第3次食育推進計画(H16~H20年)までの5年間の策定はされましたか。 ②食育に関心を持つ人の割合を上昇させる設定とあります。川崎町の関心度は何%ですか。 ③朝食を欠食する子どもの割合の調査をしたことがありますか。 ④学校給食では、地場産業や国産食材を使用する割合を増やすとあります。どうですか。 ⑤食育を中心的に担う公立小中学校の栄養教諭配置について ⑥朝食をとっている子どもと朝食を欠食する子どもでは、学力にも影響がでますか。
	2. 将来の川崎町の財政健全化を問う	様々な事業を計画をしていますが、地方債もかなり増えております。人口減、出産減少、高齢化等10年後の川崎町は大丈夫ですか。

平成29年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表
その2

議員名	件名	要旨
4 繁永 英樹	1. 町独自の子育て支援政策の現状について	①全国各自治体において、様々な発想や企画により子育て支援が行われていますが、川崎町では具体的にどのようなサービスを提供していますか。 ②民間との連携が薄いのが目立つ町ですが、放課後保育事業などが県の水準を大きく下まわり、事業の質の低下の要因となっているのではないのでしょうか。
	2. 高齢者福祉の実状について	①認知症カフェの実施などの取り組みをしていますが、その成果と今後の課題などを報告いただきたい。 ②介護や予防事業が、雇用人数等においても町のベスト3に入る一大産業であると認識していますが、この働く場として見た場合の事業育成についても伺いたい。
5 松岡 久代	町立同和保育所の民営化についてお尋ねします (町長)	①組織が生命をかけて開園にこぎつけたことは充分承知していますが、次代の変遷と共に、平成23年迄の手嶋町長の折、民営化に向けての話しがあったように記憶しています。町長も私もですが、4年間とブランクがあり、その間に4億円を投入した同和保育所が建設されましたことに対し、町長のお気持ちをお尋ねします。 ②子育て支援センターは同和保育所を民営化する為の足掛かりだったようにも記憶しています。3千万円以上の費用を投入し青少年ホームの一角に設置、同和保育所の職員を配置したと思っています。配置された職員の方々は、現在大活躍中です。一般財源の持ち出しは民間保育園8園に対し、同和保育所、子育て支援センターの一般財源の比較をお尋ねします。 ③今後の方向性についてお尋ねします。
6 原 節雄	1. 農道鎮西原線を町道認定後の事業計画を具体的に示せ	①町道認定時の一般車両の通行量は、一日最大何台通行していたのか。 ②学校の通行区分帯の安全対策は考えているのか。
	2. 起債の返還最大時期は	①人口減に比例し、国の借金の返還ピークは何年位がピークか起債返還額を示しなさい。 ②また、人口はどの程度減少しているか、その予測を示しなさい。
	3. 農道の管理の在り方	農道台帳に記載されていない農道を確認後、どのような対策を取ったのか尋ねる。

平成29年度第3回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表
その3

議員名	件名	要旨
7 櫻井 英夫	1. 町と行政区の関係性について (町長)	①地域の互助組織として自治会があるが、本町では伝統的に行政区と呼ばれ42区が設定されている。自治法上の特別区でないにも拘らず、あえて条例で規定する意義は何か。役場と行政区はどのような関係であるべきか。 ②区有地の有無により区間で財政格差が存在している。特に貸地料収入は大きく、税務署から指摘されてその管理が強化されたが、時々会計上の不祥事が発生している。田原三区共有預金が平成21年度末には9300万円あったと聞いていたが、最近、当該区の会計が失踪し、預金のほとんどが不明になっているという。それは事実か誤報か。町の区への指導監督はどうなっているのか。また、その人物は、執行部が人選し議会承認された公職の身分に就いた。身分はどうなるのか。今後町はどのように対処するのか。
	2. 公有財産の有効活用について (町長)	西田原のボタ山跡公園、旧池尻グラウンド駐車場、真崎の焼却場用地、田原最終処分場用地、例を挙げればきりが無い程の遊休地がある。有効活用プランを作成すべきではないか。
	3. 観光振興について (町長)	石炭諸法が終了し、本町経済は公共事業から民業主体に転換しつつある。サービス産業を牽引する観光政策は、緒に就いたところであり、観光振興基本計画を策定し施策の推進を図ってはどうか。
	4. 人権同和教育のあり方について (教育長)	①教育委員会が実施する解放学級のカリキュラムと実施体制はどのようになっているのか。人権推進課と教育委員会との予算、役割分担はどうなっているのか。 ②入学、卒業式の国歌斉唱で、起立していた児童生徒が座りこんで抗議の意思を示す姿が未だに見られます。解放学級が原因していると校長から説明があったが、把握しているか。国旗国歌を尊重することは、法律で規定するまでもなく日本国民として当たり前のことと思うが、児童生徒に尊重精神をどのような方法で伝えているのか。
	5. 教職員の出勤簿について (教育長)	町職員はすでにタイムカードなのに、教職員がいまだに出勤簿なのはなぜか。
8 千葉 加代子	1. 身寄りのない高齢者の死後事務対策について	①現在、孤独死で身寄りがない場合、火葬、葬儀等はどうされていますか。 ②本人が元気で判断力のある時に、「やすらぎ生活支援事業」の契約を結ぶ自治体がありますが、本町での導入は考えていますか。
	2. 認知症の予防対策と家族への支援について	①認知症予防のためには、五つの対策があるといわれていますが、周知や対策はどのように実践していきますか。 ②予防も症状改善も家族によるケアが必要です。家族へのフォローはどのようにしていきますか。
	3. 女性の貧困と一人親家庭の支援について	①本町の一人親家庭の実態把握はどうされていますか。(職員、民生委員による訪問等) ②学童保育の負担金の助成はできますか。
	4. 結婚祝い金、出産祝い金について	本町での実施の計画はありますか。